

2022年4月21日

70代女性、食道がんの患者さんについて、多職種によるアドバンス・ケア・プランニング（ACP）カンファレンスを開催しました。

抗がん剤は嫌だ、やっぱり治療を受ける、やっぱりやめるといった具合に、治療に対する意思が揺れた患者さんでした。表面だけを見ていると、化学療法に対する感情が動揺して（場合によっては知識が不足しているがために）いるので支援が必要ということになってしまいますが、そうではなかった。

実は、”家族の面倒をみながら家族と共に暮らしたい”という患者さんのwillは、全経過を通じ、全くぶれていませんでした。我々にとって大事なことは、このwillを的確に捉えることだと思います。大変勉強になりました。次回は5月26日です。（文責：藤ヶ崎浩人）

